

手順 1
受験される方ご自身または団体の代表者が、ケンブリッジ大学英語検定機構まで E-mail で必要事項をご連絡下さい。

E-mail 宛先 : InfoJapan@cambridgeenglishreps.org

必要事項 :

- | | | |
|--------------|----------------|------------------|
| 1. 氏名 (漢字) | 5. E-mail アドレス | 9. 団体の場合、受験人数 |
| 2. 氏名 (ローマ字) | 6. 受験検定名 | 10. 検定料助成制度識別コード |
| 3. 学校名 | 7. 受験希望センター・会場 | |
| 4. 電話番号 | 8. 受験希望日 | |

2017年度用のコードを記載願います

※専用ウェブサイト (www.cambridgeenglish.org/jp/mext/) よりご確認ください



手順 2
(ケンブリッジ大学英語検定機構より連絡を受けた) 以下のリストにあるご希望の試験センターより、お申込みの際しより詳しいご案内を差し上げます。また、試験センターより検定料の振込方法をお知らせしますので、各センターの案内にそってお支払願います。

特別価格で提供するTKTセンター	ウェブサイト
<ul style="list-style-type: none"> ● JP181 ケンブリッジ英検北海道試験センター ● JP172 英会話イングリッシュ・プリーズ! ● JP026 学校法人 河合塾 ● JP029 (株) 基盤学力総合研究所 ● JP206 イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 ● JP176 ケンブリッジ英検西日本試験事務局 	<ul style="list-style-type: none"> www.smileniseko.com www.english-please.com/tkt/ www.kawai-juku.ac.jp/cambridge-english/tkt.html www.21lri.co.jp/ www.efjapan.co.jp/fp/home/2016-c2/ http://cambridgecentre.jp/

更新情報は上記専用ウェブサイトにて連絡いたします。どうぞご確認ください



試験センターから申込完了のご連絡が送付されます

英語教授知識認定テスト (TKT: Teaching Knowledge Test)

ー 英語教授法に関する知識を測定する国際標準の認定テスト ー

基本 モジュール	モジュール1	言語と言語学習・言語教授に関する知識と背景	80分 80問	マーク式
	モジュール2	授業プランと教材の活用法	80分 80問	マーク式
	モジュール3	指導プロセスと学習プロセスの管理	80分 80問	マーク式
専門 モジュール	TKT: CLIL	<u>C</u> ontent and <u>L</u> anguage <u>I</u> ntegrated <u>L</u> earning 内容言語統合型学習	80分 80問	マーク式
	TKT: YL	Young Learners 教える対象が年少者である場合	80分 80問	マーク式

歴史	世界的なニーズにより開発され、2005年スタート
取得メリット	世界各国では英語教師としての採用時の最低条件とされることが多い。世界標準資格。
作成意図	すべての英語教師に求められる基礎的な知識に焦点を当て、国際的な基準に従って作成
テスト結果	合格・不合格ではなく、各モジュールの成績がBand 1 (limited : 限られた知識) ~Band 4 (extensive : 広範囲な知識)で表される
受験対象者	英語が母語でない人、および英語ネイティブスピーカー
必要とされる英語力	CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) でB1レベル相当以上

※詳細は専用ウェブサイト <http://www.cambridgeenglish.org/jp/mext/> よりご確認下さい。

※ニーズやスケジュールに合わせて、1モジュールずつ受験することや、複数を組み合わせて同日に受験することが可能です。

次のステップ

Certificate in English Language
Teaching to Adults (CELTA)
※助成制度対象外

次のステップ

The Delta Modules
(Diploma in English Language Teaching)
※助成制度対象外